

「ただいま」を・・・会社も家族も待っています

凍結路面
スピードを落とし、車間距離をとり、急ハンドルを控えましょう

事故ゼロは、私達の誇りです

安全第一 スピード 車間距離 スマホ見ない 前を見る

燃料高騰！ アイドリング時間を短く、省燃費運転

《初冬期の事故防止》
『だろ〜』より、『かもしれない』で防ぐ事故

《薄暮・夜間の事故防止》
日没の前後1時間 交通死亡事故が多発

運送業の労災、とにかく多い、「転倒・転落・挟まれ」

早朝6時 ゴミ出しに外出した女性
路上に頭から血を流し倒れた女性 間もなく死亡
“ライト”とみられる破片が散乱
ひき逃げ事件として捜査

◇夜間は、横断中の歩行者を見落としやすくなります◇
◇「夜間」・・・ヘッドライトをこまめに切り替え、遠目ライトで早期発見！ 事故防止◇

2021/11/29(月) 15:58

29日午前6時ごろ、愛知県の市道で、近くに住む女性(85)が頭などから出血し倒れているのが見つかりました。女性は病院に運ばれましたが、間もなく死亡が確認されました。警察によりますと、この直前に女性がゴミ出しに外出するのを家族が目撃していたということです。現場の路上にはライトとみられる破片が散乱し、車両が東に向かって走り去った痕跡があることから、警察がひき逃げ事件として捜査を進めています。

深夜12時 電柱に車衝突
同乗の小学3年生の9歳男児、意識不明の重体
2人で買い物に出かけ、自宅に戻る途中だった
◇気のゆるみ、『漫然運転』注意◇

2021/11/28(日) 11:41

28日深夜12時5分ごろ、富山県の市道を走っていた軽乗用車が、道路左側の電柱に正面から衝突しました。この事故で、車に乗っていた小学3年生の男児(9)が頭などを打って意識不明の重体となっています。男児は、父親(29)が運転する車で2人で買い物に出かけ、自宅に戻る途中だったということです。警察は、前方不注意による事故の可能性が高いとみて原因や当時の状況を調べています。

「缶チューハイ2本飲んだだけ」
酒気を帯びた状態で、縁石に衝突する事故
酒気帯び運転の疑いで逮捕
基準値7倍超のアルコール検出

◇飲酒運転で失う6つの宝◇

- ① 命(死亡事故に直結)
- ② 家族(家族離散など)
- ③ 仕事(解雇など)
- ④ 信用(TVなどで実名報道)
- ⑤ 免許(免許取消など)
- ⑥ お金(罰金や遺族補償など)

2021/11/28(日) 13:36

警察は27日、酒気を帯びた状態で乗用車を運転したとして、男(25)を道交法違反(酒気帯び運転)の疑いで逮捕した。調べに対し、飲酒運転した事実は認めているものの「缶チューハイを2本飲んだだけ」と容疑を一部否認している。呼気からは基準値の7倍超のアルコールを検出した。逮捕容疑は25日午後10時40分ごろ、沖縄県の国道で、酒気を帯びた状態で車を運転した疑い。容疑者が道の縁石に衝突する事故を起こし、酒気帯び運転が発覚した。